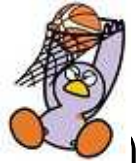


平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会  
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Eコート 第1試合 正智深谷高校

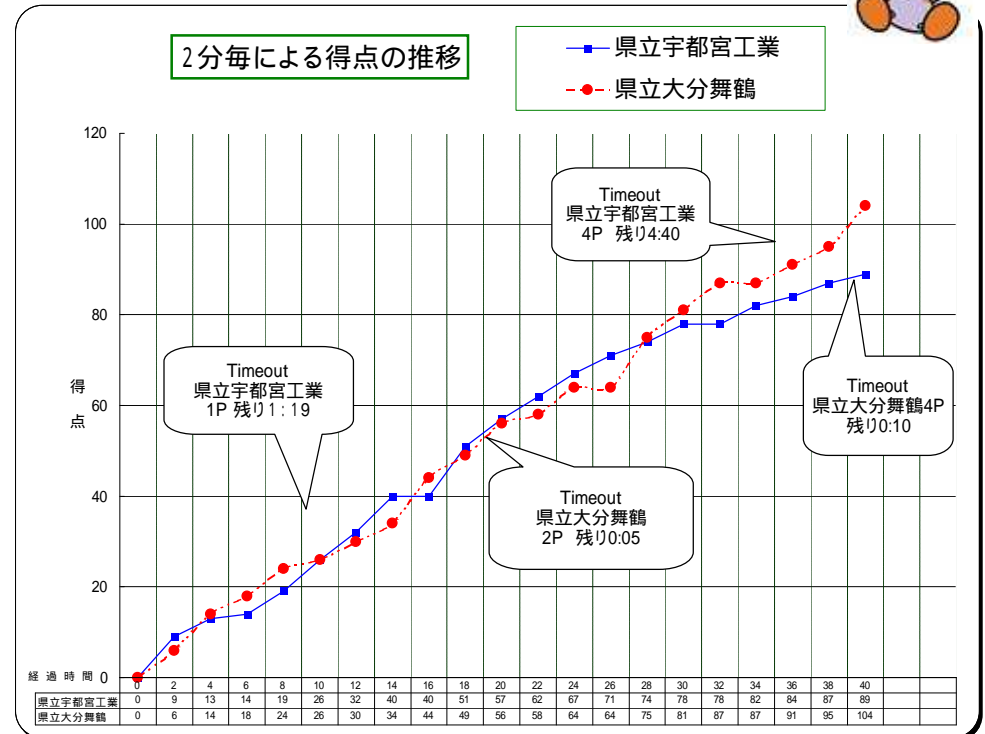
チームA <b>県立宇都宮工業</b> 栃木	<b>89</b>	{ 26 - 26 31 - 30 21 - 25 11 - 23 }	<b>104</b>	チームB <b>県立大分舞鶴</b> 大分
------------------------------	-----------	--	------------	-----------------------------

県立宇都宮工業

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	水沼 孝広	X	29	8	20	2	5	1	4	1	0	0	2	3	5	0	40
5	桑川 岳勤	X	2	0	2	1	1	0	2	4	1	3	6	4	9	0	40
6	横塚 螢	X	25	0	1	11	18	3	4	3	1	3	4	3	1	0	39
7	石崎 駿	X	15	0	2	6	11	3	3	5	1	7	2	2	2	2	39
8	斎藤 渉太	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9	新屋 明夫	X	13	0	0	6	7	1	2	5	1	4	2	1	1	0	26
10	中村 晃徳	/	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11	遠藤 真慶	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	粟国 正宗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	蓮実 昌樹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	大塚 一樹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	齋川 直人	/	3	0	0	1	2	1	2	0	0	3	0	0	0	0	14
コーチ	千村 隆	/	/	/	/	/	/	/	/	0	1	1	/	/	/	/	/
出場: xは先発、/は出場	89	8	25	28	45	9	17	18	5	21	16	13	18	2	200		
確率	32.0%	62.2%	52.9%	計	26												

県立大分舞鶴

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	東 拓哉	X	42	0	0	17	23	8	11	0	7	7	4	3	2	0	40
5	嶋津 将一	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4
6	武津 祐太郎	/	2	0	2	1	1	0	0	3	0	3	1	1	2	0	12
7	高橋 真介	X	11	0	1	5	9	1	1	4	0	2	6	2	6	1	32
8	山村 彰	/	2	0	1	1	3	0	2	2	2	1	1	0	0	1	10
9	酒井 雅史	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	甲斐 浩介	X	10	0	1	5	10	0	2	4	7	6	3	3	7	0	32
11	財前 翔平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	佐藤 康之郎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	園田 将史	X	9	1	6	2	9	2	4	3	0	2	0	3	2	0	31
14	台良 裕則	X	28	2	12	10	15	2	4	3	2	1	2	0	2	0	39
15	長野 真也	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	齋藤 哲也	/	/	/	/	/	/	/	/	0	8	5	/	/	/	/	/
出場: xは先発、/は出場	104	3	23	41	70	13	24	19	26	27	18	13	21	2	200		
確率	13.0%	58.6%	54.2%	計	53												



**戦評**  
埼玉インターハイ正智会場は、両チームとも切り替えの速さから高得点な試合展開を持ち味とする、宇都宮工業対大分舞鶴の試合で幕を開けた。  
第1P、宇都宮工業はオールコートゾーンプレスからゾーンディフェンス。一方、大分舞鶴は、ハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。両チームとも激しいディフェンスからターンオーバーを誘い、速攻での得点を重ねて一進一退の展開となる。  
第2P、宇都宮工業は#4水沼の3Pシュート、#5桑川の果敢な1対1から得点する。一方大分舞鶴はキャプテン#4東を中心に得点を重ねる。両チームとも持ち味を発揮する試合展開で前半を終える。  
第3P、宇都宮工業は#4水沼の3Pシュートの好調は続き得点を重ねていく。一方大分舞鶴はチーム全員でオフェンスリバウンドを獲得し得点を重ね、宇都宮工業に主導権を握らせないまま最終ピリオドへ。  
第4P、やや疲労の見始めた宇都宮工業に対し大分舞鶴は運動量で勝り、激しいディフェンスからターンオーバーを誘い、徐々に得点差を広げていく。一方宇都宮工業は、#4水沼の3Pシュートで追い上げたいがリングに嫌われ得点差を詰められない。最後まで運動量の落ちなかった大分舞鶴が追いすがると宇都宮工業が振り切り勝利した。

主審	高城 邦弘	副審	中島 孝男	戦評	田淵 聡彦 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	----------------

3P: スリーポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、OF: オフェンス、DF: ディフェンス、TO: ターンオーバー、ST: スティール、AS: アシスト、BS: ブロックショット